

## 職員団体との意見交換会の議事要旨

(開催日時)

令和3年8月25日(水) 16:00~16:59(59分間)

(開催場所)

札幌第1合同庁舎10階共用1・2号会議室

(出席者)

当局側(北海道開発局)

柘植 紳二郎(開発監理部長)、越智 俊光(開発調査官)、  
藤田 望(人事課長)、村津 敏紀(職員課長)、  
鈴木 博宣(職員課長補佐)

職員団体側(全北海道開発局労働組合)

上山 新吾(書記長)、齋藤 航太郎(書記次長)、

(議 題)

2022年度勤務条件改善に関する要求について

(要 旨)

<賃金・諸手当>

(職員団体) 最低でも月例給の水準維持、一時金の支給月数が確保されるよう求める。

(当 局) 公務員の給与は、人事院の勧告をもとに国会で決定されるものであり、当局の権限の及ぶところではないが、職員の勤務条件に関わるものとして、当局としても重大な関心を持って、引き続き情報収集に努めていきたい。

<テレワーク>

(職員団体) テレワークにより職場に無理が生じないよう配慮してもらいたい。

(当 局) 管理者に対し職員の業務の進捗状況を把握し、必要に応じてアドバイスするなどきめ細かく職員指導を行い、円滑な業務運営に努めるよう引き続き指導していきたい。

<定員>

(職員団体) 定員の確保に向けてどのように要求していく考えなのか。

(当 局) 定員要求に当たっては、北海道開発局の使命を着実に果たすことができるよう、今後も必要な定員の確保に向け、本省とも連携を密に取り組むこととしている。

<組織・機構>

(職員団体) 業務繁忙のための体制強化として、上席専門官、専門官、専門職の増設を求める。

(当 局) 専門官・専門職等については、業務の複雑化・専門化に対応した組織体制の強化を図るため設置してきたところであり、今後も必要に応じ検討していきたい。

<級別定数>

(職員団体) 行(一)職員の4級・5級枠の拡大、行(二)職員の部下数制限の撤廃・緩和に向けた努力を求める。

(当局) 級別定数の改善については、職員の在職状況・年齢構成の変化等を踏まえ改善が図られるよう従前から対応してきたところであり、引き続き、本省とも連携して当局の実情を説明し、要望していきたい。

<再任用>

(職員団体) 在札圏でのフルタイム再任用について実施の見通しは如何。

(当局) 在札圏におけるフルタイム再任用については、現状では職員の希望どおりに実施することが難しい状況にある。

<定年延長>

(職員団体) 制度が導入されるまでの間に開発局として検討する事項はあるのか。

(当局) 今後の取り扱いについては、当局としても重大な関心を持って情報収集に努めていきたい。

<機械・船舶の増強・更新>

(職員団体) 連絡車、パトロールカー、草刈車の更新・増強を求める。

(当局) 事業に必要な機械・船舶については、当局の業務運営及び民間の保有状況を鑑み、更新を主体に整備していく考えである。

<事業執行>

(職員団体) 道路事務所計画課が実施していた設計に関する業務を一元的に実施するため道路設計管理官が設置されたが、上手く機能せず、事務所や関係課の負担が大きいとの声を聞く。問題点を把握し改善するよう求める。

(当局) 混乱が生じないように引き続き適切に指導していきたい。

<人事評価>

(職員団体) 面談における評価者の説明に不満があるとの声が多いことから、評価者に対する指導の徹底を求める。

(当局) 人事評価制度の適正な実施については、評価者及び被評価者とも十分な理解が重要であり、説明会や各種研修等を開催し理解促進に努めているところである。

※文責は北海道開発局当局(相手方未確認。今後修正があり得る)